総合病院 岡山協立病院

つながるこころ、地域とともに

虹のなかま

Vol.227
2023. 9 月号

手術用移動型Cアームを更新 …… 2～3
防災訓練を実施・アンケートのお願い …… 4

手術用移動型 C アームを更新

当院では移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置（Cアーム）を新しい機種に更新し、４月より運用を開始しています。

Cアームとは、手術中に患者さんの身体内部の骨、臓器、血管などをリアルタイムに観察するためのX線透視診断装置です。この装置は可動性があり、アーム部分も自在に回転できるため、あらゆる角度からのX線撮影が可能です。撮影用のアームがアルファベットの「C」の形をしているため、Cアームと呼ばれています。

今回導入したCアーム（GEヘルスケア社）

C アームの用途

Cアームは、整形外科、消化器、泌尿器、一般外科の手術領域で使用される機器です。当院では、整形外科の骨折観血的手術や椎体間固定術、外科のカテーテル留置や泌尿器科のステント留置術などに使われています。2022年度はこのCアームを用いた手術が128件ありました。

手術の様子（GE ヘルスケア社提供）

新機種の特徴を紹介します

コンパクトで省スペース・省力化

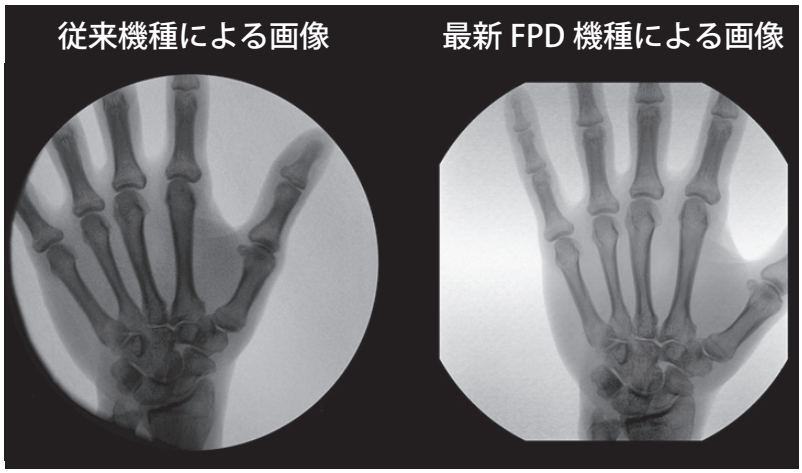
医師が見るモニターが本体に一体化されたオールインワンのコンパクト設計になっており、またフットスイッチも有線からワイヤレス化されるなど、従来の機種に比べ準備の省力化、省スペースでの設置

が実現。狭いスペースに多くの機材を必要とする手術場をより有効利用でき、安全で衛生的な手術を可能にしています。

当院手術室での設置風景

省電力・低被ばくで安定した透視画像

X線検出器部分にCMOSフラットパネルディテクタ（FPD）が採用されており、従来機種に比べ省電力かつ低線量領域でも高いX線利用効率で稼動することができ、高解像度を常に維持しながら連続透視を実現しています。被写体の自動認識や画像の自動調整も可能で、術中に安定した透視画像が得られるとともに、患者さんや医師らへの被ばく低減も両立しています。



GE ヘルスケア社提供

手術・麻酔時間の短縮

骨の解剖学的構造やインプラント、デバイスの視認性も高まり、従来の装置では表現できなかった高品質な画像を得られることで、手術時間・麻酔時間の短縮に繋がり、患者さんの身体的負担の軽減に貢献しています。また、難易度の高い手術においても、より高い精度で安全に手術を行うことが可能になりました。

放射線科　主任　藤 原 広 志

7月1日　防災訓練を行いました

本番前のミーティング

実際に火災報知機を発報し、患者役の職員を安全な場所まで誘導したりストレッチャーで搬送したり、実践形式で行いました。

虹のなかま　アンケートのお願い

虹のなかま編集部では、皆様のご意見をお待ちしています。より見やすく、読まれる記事の紙面にしていくため、ぜひアンケートにご協力ください。
無記名、1～2分でどなたでも簡単にお答えいただけます。右のQRコードからアクセスしてください。よろしくお願いします。

【表紙の写真】　防災訓練での消火器実習。三角コーンを火元に見立てて消火剤を正確に噴射する練習を行いました。

〔**お詫び**〕　本誌7月号3面　**巻き爪の治療方法：**③「…根本的に爪を強制したい方…」は、「…根本的に爪を**矯正**したい方…」のまちがいでした。お詫びして訂正いたします。

総合病院 岡山協立病院　〒703-8511 岡山市中区赤坂本町 8-10
TEL 086-272-2121（代表）　FAX 086-271-0919